



黒田 晃弘 木炭による素描画展示と  
似顔絵セッション会

# 人<sup>じん</sup>仏<sup>ぶつ</sup>画<sup>が</sup>展

「黒田 晃弘～人仏画展～新たな自分との出会い！」

手作りの木炭で描く似顔絵・・・写真では見つけられない、別の「自分」に出会えます!!しかも、アートとなって・・・世界でたった一枚のアート!

「横浜トリエンナーレ 2005」で大変に話題になった黒田さん。ついに、まほろばで展示会です!!



●日程：4月3日（金）～5日（日）

AM 10：30～PM 6：30

●場所：まほろば本店 2F 札幌市西区西野 5 条 3 丁目

●似顔絵ご希望の方：665-6624（まほろば本店まで）  
・料金：（一枚A4サイズ）3,500円・・・ご希望の日時をお申し出ください。

①10：30～ ②11：30～（12：30～休憩） ③13：30～  
④14：30～ ⑤15：30～ ⑥16：30～ ⑦（最終）17：30～

## ■黒田 晃弘 Profile

石狩市在住、芸術家。

1970年札幌市生まれ。

自作の木炭で、出会う人の顔を描く。会話を重ねてそ

の人の内面的な人物像を浮き上がらせるように描くその画法は、似顔絵から「人仏画」（じんぶつが）へと名称が変化し、唯一無二の表現となった。



## 横浜トリエンナーレ 2005 での作品



ひとつ  
ひとつの出会い、  
一人一人の人生、この  
世界に対して全く無力  
であるとは思いたくは  
ないのです。”

“「絵を描くことを通して、人の世界に貢献したい。」という想いで、2003 年から似顔絵を描くことで「人の世界を旅する画家」をコンセプトにした活動をつづけてきました。 手作りの木炭で描く似顔絵は、数千枚描く中で進化し、表面の顔を似せるのではなく、内面のこころの模様を描く絵となりました。

今では、「似顔絵」とは呼ばずに「人仏画（ジンブツガ）」と呼ぶようになりました。私は絵描くとき、会話を重ね、時間をかけ、こことこころの共振が生まれてから描くようにしています。そうしたことで絵にその人の内面が表れてきます。手作りの木炭から生まれるタッチもどんどん変化します。モデルになる人の影響を受け、不思議とどの絵を比べても同じタッチはありません。”

・・・黒田さんHPより



## ■主な企画展

- ・2005 「横浜トリエンナーレ 2005」山下ふ頭（横浜市）
- ・2006 「立川市国際芸術祭 2006」国定公園、市民ギャラリー（立川市）
- ・2006 「FIXMIXMAX」北海道立近代美術館（札幌市）
- ・2008 「FIXMIXMAX02」ESSE ギャラリー（札幌市）
- ・2011 「札幌ビエンナーレプレ企画展」北海道立近代美術館（札幌市）
- ・2014 「北の脈 -North Line-」500m 美術館（札幌市）

## ■主なプロジェクト

- ・2006 「バングラデシュ 40 日間道の上より～ ANGKAL（約束）」（ダッカ、バングラデシュ）
- ・2007 「ガン病棟での似顔絵による対話」クリニカ ET（横浜市）
- ・2010 大通高校似顔絵プロジェクト「TravellingThrough Humanity」大通高校（札幌市）
- ・2011 東北大地震被災地大船戸を慰問、似顔絵をプレゼント

- ・2014 「フェンスアート、似顔絵ワークショップ参加作品展示」円山動物園、大通り公園4丁目（札幌市）
- ・2014 「アトリエランブ再生プロジェクト」

## ■メディア（ドキュメンタリー）

- ・2005 UHB スーパーニュース「似顔絵アーティスト黒田晃弘」ドキュメンタリー出演
- ・2005 NHK「新日曜美術館」出演、アナウンサー山根基世を描く
- ・2008 NHK ほくほくテレビ特番「似顔絵アーティスト黒田晃弘」ドキュメンタリー出演
- ・2008 STV DI アンビシャス「画家黒田晃弘」ドキュメンタリー出演

## ■ワークショップ

- ・2005 ～「似顔絵ワークショップ」横浜文化財団、横浜市旭区文化センターサンハート、札幌市と連携して、各小学校などで開催中!